

東京農業大学大学院と国際協力機構（JICA）との連携事業 ～長期履修制度を活用した大学院在学中の青年海外協力隊参加～

1. 制度の概要

東京農業大学大学院では、長期履修制度を活用し、博士前期(修士)課程在学中に、青年海外協力隊または日系社会青年ボランティアに参加することが可能です。

この制度は、本学の知見・人材を有効に活用することにより、開発途上国の農業分野の課題を解決するとともに、大学の国際協力分野における人材育成に資することを目的とし、本学と独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携により 2017 年度より新たに設置されました。

※長期履修制度とは

東京農業大学大学院の長期履修制度とは、職業を有している場合や育児・介護を行う等の事情により、標準修業年限(博士前期課程は2年、博士後期課程は3年)で修了することが困難な場合で、標準年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合、審査の上、その長期的な履修を認める制度です。

学費は標準修業年限分の学費総額相当額を、長期履修期間に応じて分割納入します。

2. 入学前のながれ

(1) 事前相談

長期履修制度を活用し大学院在学中に青年海外協力隊への参加を希望する方は、必ず事前(7～9月頃)に問い合わせ先(本学国際協力センター)に連絡してください。国際協力センターから各専攻に問い合わせて、希望者の指導(准)教授(以下、指導教員)予定者を定めます。国際協力センターから希望者へ指導教員予定者の連絡先を伝え、連絡を取り始めます。両者は綿密な打合せを行い、研究計画を策定します。

なお、応募には語学力を証明する資格又はスコアの提出が必要です。TOEIC 等の試験を受けておいてください。詳しくは下記のURLを参照ください。

【<http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/language/index.html>】

(2) 青年海外協力隊への応募・選考試験（東京農大国際協力センターへの書類提出を含む）

【応募書類の作成】

9月上旬頃、JICA ホームページ(<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/>)に募集要項が公開されます。募集要項に掲載されている要請一覧の中から、職種を1つ選び、選択した職種の中から希望する要請を3つまで選択してください。なお、特定国・地域を定めた派遣ではないため、今次募集では、希望する国や職種での募集がない場合や、希望した要請以外で合格となる場合もありますのでご注意ください。

応募書類一式は 10 月上旬以降に東京農業大学国際協力センターで入手できます。なお、一般の応募者はウェブ応募が可能ですが、本制度での応募者はウェブ応募ができません。

応募に当たり作成が必要な書類は①「応募者調書」、②「応募用紙」、③「語学力申告(語学力を証明する書類)」、④「問診票」、⑤「職種別試験解答用紙」の5点です。本制度による応募では、一次の技術審査が免除されますが、面接時の参考資料とするため⑤「職種別試験解答用紙」も提出してください。

【応募者推薦書の作成(指導教員)】

希望者は、上記①～⑤の応募書類作成を終えた上で、指導教員に⑥「青年海外協力隊 2018 年度秋募集応募者推薦書」の作成及び国際協力センターへの同書類提出を依頼してください。

【東京農大国際協力センターへの書類提出】

①「応募者調書」、②「応募用紙」、③「語学力申告(語学力を証明する書類)」、④「問診票」、⑤「職種別試験回答用紙」の5点を応募者本人から、⑥「青年海外協力隊 2018 年度秋募集応募者推薦書」を指導教員から、本学国際協力センターへ提出してください。

国際協力センターへの提出締切日は、**2018 年 10 月 19 日**です。

【青年海外協力隊合格発表までの日程(予定)】

一次合否発表:2018 年 12 月上旬

二次選考試験:2019 年 1 月上～中旬のいずれか一日 JICA から指定された日に都内で実施

二次合否発表:2019 年 2 月上旬

(3) 大学院への出願・入学試験

応募者は事前に受入教員と相談のうえ、出願期間内に「長期履修申請書」と「長期履修計画書」を提出してください。なお、出願期間中に長期履修制度の申請がなかった場合、後から制度適用を申請することはできませんので注意してください。

大学院入試に関する詳細は、入試案内ページ(<http://gs.nodai.ac.jp/admission>)で確認してください。なお、大学院への出願及び長期履修制度申請に関しては、大学院課までお問い合わせください。

【大学院入学試験から合格発表までの日程】

農学研究科	生物産業学研究科
出願期間：平成 30 年 12 月 17 日(月)～19 日(水) 試験日：平成 31 年 1 月 26 日(土) 合格発表：平成 31 年 2 月 1 日(金)	出願期間：平成 31 年 1 月 15 日(火)～21 日(月) 試験日：平成 31 年 2 月 9 日(土) 合格発表：平成 31 年 2 月 15 日(金)

JICA による青年海外協力隊選考試験と本学の大学院入学試験の双方に合格することで、長期履修制度を活用した青年海外協力隊への参加が可能になります。

JICA の青年海外協力隊に不合格となった場合は、本学の標準修業年限での課程履修となります。

(4) 訓練期間と派遣時期

2019 年度 3 次隊もしくは4次隊として派遣される予定です。3 次隊は訓練期間(2019 年 10 月上旬～12 月中旬)を経て、2019 年 12 月下旬～2020 年 1 月上旬に出発予定です。4 次隊は訓練期間(2020 年 1 月上旬～3 月中旬)、2020 年 3 月下旬に出発予定です。

*ただし、JICA ボランティアの制度変更により、上記は変更する可能性があります。

2. 入学後のながれ (例)

下表は、入学後のながれの例です。(具体的な時期は派遣決定時に JICA より通知されます。)

	3 次隊で派遣の場合		4 次隊で派遣の場合			
	東京農業大学大学院 ^注	青年海外協力隊	東京農業大学大学院 ^注	青年海外協力隊		
1 年目	4 月 博士前期課程入学		4 月 博士前期課程入学			
	4 月～9 月 前学期履修		4 月～9 月 前学期履修			
			10 月 派遣前訓練 開始		10～1 月上旬 後学期履修	
			12 月 訓練終了～出発			
			1 月 出発			1 月 派遣前訓練 開始
			1～3 月 協力隊活動			3 月 訓練終了～出発
2 年目		4～12 月 協力隊活動		4 月 出発		
	1 月 一時帰国・演習指導	1 月 一時帰国		4 月～翌年 3 月 協力隊活動		
		2～3 月 協力隊活動				
3 年目		4～12 月 協力隊活動		4 月 一時帰国		
		1 月 帰国		5 月～翌年 3 月 協力隊活動		
	2～3 月博士前期課程復帰					
4 年目	4 月 博士前期課程		4 月 博士前期課程復帰	4 月 帰国		
	3 月 博士前期課程修了		3 月 博士前期課程修了			

注：黄色セルは、大学院に通学する期間

協力隊参加期間中は指導教員と密に連絡を取り、指導教員のアドバイスを現地での活動に生かしてください。また現地での活動内容をもとに「フィールド調査」「インターンシップ」等の単位を認定する場合があります。単位の認定は専攻によって異なるので、指導教員と相談してください。

< 問い合わせ先 >

東京農業大学国際協力センター (担当：後藤)

TEL: 03-5477-2560、E-MAIL: tuacip@nodai.ac.jp

※件名を「大学院長期履修制度(氏名)」としてください。